

校長室だより No.43 12月7日（月）

a New Starting Point（第5回情報ITフェア・オンライン開催）

12月5日・6日と2日間にわたり第5回情報ITフェアをオンラインで開催しました。昨年度は過去最高の2500人の集客があったイベントだけに今年のコロナ禍での開催には本当に頭を悩ませました。「オンラインでの開催で、動画を配信することが本当に生徒の“学び”につながるのだろうか？」まだやったことがない、完成型が見えない取組であるため、生徒にとっても教員にとっても勇気のいる決断でした。しかし、その決断を後押ししてくれたのは生徒たちのこのITフェアに対する意気込みだったように思います。

運営に当たる生徒たちが情報ITフェアの開催テーマを決める際に行ったミーティングアンケート『私たちが創る 第5回情報ITフェア』に次のような意見がありました。

- ・「さすが情報科学高校と言われるように、いつもお世話になっている地域の方へ感謝を伝えられるように、楽しんでもらえるように、中学生などにはこの学校に入りたいと思われるようなITフェアにしたい」
- ・「情報教育の中心校から先進校へと進化しようとしている情報科学高校をアピールしたい」

今回の「a New Starting Point」というテーマはこのような思いから生まれました。

実際に開催に向けて動き出してみると、やはりそれは初めて直面する課題の連続だったようです。観る対象を意識した動画づくりや著作権の問題等々。しかし、だからこそそこで得られた学びは大きかったようです。「そこに“学び”はあるのだろうか？」といった不安は全くの杞憂でした。

とは言っても当日学校で行ったのは、しまね留学生（県外からの留学生）のYouTubeライブ、Zoomでの学校紹介、ソフトバンクグループ株式会社様、ソフトバンクロボティクス株式会社様のご協力で実施した「Pepper オンラインプログラム体験」、LEDクリスマスランタンキットの手渡し配布のみ。それ以外のホームページでの動画配信においては、去年までの来場者との直接のふれあいから感じられる“手応え”がないだけに生徒の「達成感」がいまひとつのような気もしています。

今後しばらくは「[第5回情報ITフェア](#)」のサイトはこのままご覧いただけます。ページの下の方に「ご意見ご感想」を記入していただける欄を設けておりますので、ご覧いただいた忌憚のないご意見をたくさんお寄せいただくと幸いです。

